

大気浮遊じんの放射能濃度測定結果

問合せ 生活環境課 ☎24-5231

ちりやほこりに付着した放射性物質の飛散状況を調べるため、市内10地点で収集した大気1m³あたりの放射性物質の濃度を測定しました。

測定地点		放射能濃度 (mBq/m ³)		
		6/13-6/20	6/20-6/27	
小高区	川房公会堂 (川房)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.094	0.120
	金房小学校 (飯崎)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.035	0.053
	塚原公会堂 (塚原)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.021	0.040
原町区	横川ダム (馬場)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.089	0.092
	原町保健センター (小川町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.034	0.031
	高平生涯学習センター (下高平)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.022	0.025
	市立総合病院 (高見町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.034	0.025
	大原公会堂 (大原)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.036	0.042

測定地点		放射能濃度 (mBq/m ³)		
		6/13-6/20	6/20-6/27	
鹿島区	鹿島区役所 (西町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.018	0.032
	鹿島区3-3消防屯所 (南海老)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.012	不検出

※検出限界値はおおむね0.02~0.03mBq/m³の範囲にありますが、測定サンプル毎に変動します。そのため、データの記載がない日は、放射能濃度が検出限界値未満の値であり「放射能不検出」と判定されます。

●渡邊正己京都大学名誉教授
(市放射線健康対策委員会委員長)による解説●

第88回目

大気浮遊じん放射能測定結果の解説

(平成30年6月13日～平成30年6月27日)

市内10箇所の観測値で実施された大気浮遊じんに含まれる放射能の測定結果によれば、放射性セシウム137の平均濃度は、0.04mBq/m³と観測を始めて最も低い値であり、健康影響が予想される濃度に遠く及ばない値でした。除染による放射能汚染物の仮置き場からの搬出が始まっていますので、今後も引き続き大気浮遊じんに含まれる放射能の測定を続け市民の皆様の安全を図ってまいります。